

**平成30年度 事業報告**  
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

**I. 助成事業**

**1. 研究助成（公募）**

少子高齢社会・人口減少社会における社会福祉に関わる国際的調査研究に対して応募型の助成を行いました。助成対象者は、大学・研究所等の研究教育機関等において、研究・教育活動に従事している方、又は大学院修士課程に在籍するか同等以上の資格もしくは能力を有する方。助成額は一件当たり100万円を限度としました。

①基本テーマ：

『健やかでこころ豊かな社会をめざして』

- (i) 社会保障制度を育てる
- (ii) 高齢者の健康と子ども・若者支援
- (iii) コミュニティの役割

②助成件数及び助成金額

助成件数 26件。助成金額 1,721万円

**2. 特定活動助成（公募）**

少子高齢社会・人口減少社会における社会福祉に関わる市民活動に対して応募型の助成を行いますが、平成30年度は東日本大震災や熊本地震をはじめとする自然災害の被災者を対象にこころのケアのための“傾聴ボランティア”として活動している市民団体を助成する「特定活動助成」として実施しました。助成額は一件当たり50万円を限度とし、助成期間は最長3年間としました。

①基本テーマ：

『自然災害支援プログラム』

②助成件数及び助成金額

助成件数 8件（継続2件・新規6件）。助成金額 225万円

## Ⅱ. 国際交流と人材の育成事業

### 1. (第16回) ハワイ・ソーシャルワーク・セミナー

将来の社会福祉を担う専門職をめざす大学院生・大学生を公募選考し、米国ハワイ州に派遣して、ハワイ大学及び現地の社会福祉機関等において約2週間のセミナーを実施しました。ハワイ大学マイロン B.トンプソン・ソーシャルワーク学部の教員をはじめとする現地の講師陣による講義、ディスカッションや社会福祉機関の見学等を通して多民族社会であるハワイのソーシャルワークを学びました。

①日程：

平成31年2月16日(土)～3月3日(日)16日間

②参加者：

20人

③参加費：

金銭の受け入れはせず、参加者がハワイまでの往復航空券を自己負担で手配することで参加費とした。

④実施主体：

主催：公益財団法人ユニバーサル財団

共催：ハワイ大学マイロン B.トンプソン・ソーシャルワーク学部  
ナ・レイ・アロハ財団(業務委託)

後援：一般社団法人日本ケアマネジメント学会

一般社団法人日本社会福祉学会

一般社団法人日本社会福祉教育学校連盟

一般社団法人日本社会福祉士養成校協会

公益社団法人日本社会福祉士会

特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会

日本地域福祉学会

### 2. (第16回) 日韓こころの交流プログラム

日本及び韓国の社会福祉諸団体と提携して、両国で交互(一年毎)に社会福祉の専門家、及び一般市民を対象に「日韓こころの交流シンポジウム」を開催。又、福祉現場で働く若手専門職と専門職をめざす大学院生を公募選考し、シンポジウム開催現地にて、約1週間の「専門職育成・国際交流セミナー(研修セミナー)」を開催しています。

平成30年度は、大阪・京都にて「(第16回)シンポジウム」及び「(第10

回) 研修セミナー」を実施しました。

①日程及び実施場所等：

(i) シンポジウム：平成30年11月30日(金) 13:00～16:40

龍谷大学響都ホール校友会館

テーマ『公・民協働で取り組む地域共生社会の実現—  
先進的実践と課題』

(ii) 研修セミナー：平成30年11月25日(日)～12月2日(日) 8日間

大阪・京都近郊の高齢者施設、児童養護施設、生活困窮者のための支援施設や、障害者就労施設等を視察。  
同志社大学大学院講師による授業等。

②参加者：

(i) シンポジウム：社会福祉の専門家及び一般市民等 約120人

(ii) 研修セミナー：韓国の大学院生・若手ソーシャルワーカー 11人

③参加費：

(i) シンポジウム：無料

(ii) 研修セミナー：金銭の受け入れはせず、韓国からの参加者が日本までの往復航空券を自己負担で手配することで参加費とした。

④実施主体：

主催：第16回“日韓こころの交流”プログラム実行委員会  
公益財団法人ユニバーサル財団

共催：社会福祉法人こころの家族(業務委託)  
韓国社会福祉法人尹鶴子共生財団

後援：一般社団法人日本社会福祉学会  
一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟  
公益社団法人日本社会福祉士会  
特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会  
日本地域福祉学会  
龍谷大学短期大学部  
韓国社会福祉学会  
韓国社会福祉士協会  
韓国社会福祉協議会

### Ⅲ. ボランティアの国際交流

#### 1. ボランティア・ミシガン研修

心のケアに取り組むボランティアを公募選考し、米国ミシガン大学に派遣して、約1週間の研修セミナーを実施しました。同大学ヘルスシステムの専門職による講義、施設見学、現地の同種ボランティアとのディスカッションや同伴しての活動等を通してスキルの向上と国際交流を図りました。

①日程：

平成30年10月21日（日）～10月28日（日）8日間

②参加者：

日本国内で心のケアに取り組むボランティア 13人

③参加費：

金銭の受け入れはせず、参加者が現地までの往復航空券を自己負担で手配することで参加費とした。

④業務委託：

ミシガン大学ヘルスシステム

## IV. ボランティアの普及啓発事業

### 1. ユニバーサルボランティア神戸

シニア年代（高齢者及びこれから高齢期を迎える方）に、主に高齢者を対象に心のケアのための傾聴ボランティアとして活動していただきました。

兵庫県神戸市を拠点に近畿地区で活動。個人宅を訪問して心のケアにあたる「友愛訪問」をはじめ、地域高齢者の閉じこもり予防のためのサロン茶話会を実施して、精神的な自立を見守っています。活動にあたっては専門家による研修を重ねて、その質の向上に努めました。

#### ①主な活動内容：

兵庫県芦屋市や神戸市の復興住宅及び個人宅、大阪府高槻市等での友愛訪問を行いました。その他、芦屋市と高槻市でサロン茶話会を実施しました。

#### ②活動助成金：

芦屋市社会福祉協議会と芦屋市から活動助成金を受けて一部の活動を行いました。

### 2. ユニバーサルボランティア東京

シニア年代（高齢者及びこれから高齢期を迎える方）に、主に高齢者を対象に心のケアのための傾聴ボランティアとして活動していただきました。

東京都立川市を拠点に活動。地元行政や地域包括支援センターと連携し、個人宅を訪問して心のケアにあたる「友愛訪問」をはじめ、施設等の高齢者の精神的な自立を見守る活動を行っています。活動にあたっては専門家による研修やメンバーによる自主勉強会を重ねて、その質の向上に努めました。

#### ①主な活動内容：

主にケアマネジャーからの紹介により、東京都立川市内をはじめとする高齢者宅に友愛訪問を行いました。その他、武蔵村山市高齢者在宅サービスセンター※でのレクリエーションや行事のお手伝いを通して利用者の心のケアにあたりました。

※武蔵村山市高齢者在宅サービスセンターは平成31年3月31日をもって閉所となりました。それに伴い同センターでの活動も終了となりました。

## V. その他

### 1. 出版

平成31年1月1日付で出版を廃止しました。

以上

## 貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	47,293,079	59,388,938	△ 12,095,859
棚卸資産	5,552,218	0	5,552,218
未収入金	70,328	81,000	△ 10,672
前払費用	100,691	144,861	△ 44,170
流動資産合計	53,016,316	59,614,799	△ 6,598,483
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	2,700,000,000	2,700,000,000	0
基本財産合計	2,700,000,000	2,700,000,000	0
(2) その他固定資産			
建物附属設備	1,514,748	1,787,478	△ 272,730
什器備品	41,161	67,224	△ 26,063
無形固定資産	59,400	124,200	△ 64,800
電話加入権	735,280	735,280	0
敷金	12,267,040	12,267,040	0
その他固定資産合計	14,617,629	14,981,222	△ 363,593
固定資産合計	2,714,617,629	2,714,981,222	△ 363,593
資産合計	2,767,633,945	2,774,596,021	△ 6,962,076
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	4,192,991	2,530,960	1,662,031
預り金	333,326	294,055	39,271
流動負債合計	4,526,317	2,825,015	1,701,302
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	4,526,317	2,825,015	1,701,302
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	2,000,000,000	2,000,000,000	0
指定正味財産合計	2,000,000,000	2,000,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(2,000,000,000)	(2,000,000,000)	( 0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	763,107,628	771,771,006	△ 8,663,378
(うち基本財産への充当額)	(700,000,000)	(700,000,000)	( 0)
正味財産合計	2,763,107,628	2,771,771,006	△ 8,663,378
負債及び正味財産合計	2,767,633,945	2,774,596,021	△ 6,962,076

## 平成30年度正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

	当年度	前年度	増減額
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	449,978	10,229,375	△ 9,779,397
基本財産運用益	89,998	89,993	5
基本財産運用益振替額	359,980	10,139,382	△ 9,779,402
受取寄附金	112,862,192	108,323,628	4,538,564
受取寄附金	112,862,192	108,323,628	4,538,564
受取補助金等	36,000	36,000	0
雑収益	8,769,078	2,929,252	5,839,826
経常収益計	122,117,248	121,518,255	598,993
(2) 経常費用			
① 事業費			
i 助成事業			
公募助成			
公募研究助成	31,816,731	32,252,300	△ 435,569
公募特定活動助成	2,250,000	2,280,000	△ 30,000
公募助成計	34,066,731	34,532,300	△ 465,569
助成事業計	34,066,731	34,532,300	△ 465,569
ii 国際交流事業			
ハワイ・ソーシャルワーク・セミナー	24,967,800	21,939,066	3,028,734
日韓こころの交流プログラム	14,265,885	10,175,195	4,090,690
国際交流事業計	39,233,685	32,114,261	7,119,424
iii ボランティア			
ボランティア・ミシガン研修	10,238,373	2,686,650	7,551,723
エバーホルボランティア神戸	16,664,708	16,944,897	△ 280,189
エバーホルボランティア東京	12,139,803	11,396,055	743,748
ボランティア計	39,042,884	31,027,602	8,015,282
iv その他			
出版	0	513,628	△ 513,628
その他計	0	513,628	△ 513,628
事業費計	112,343,300	98,187,791	14,155,509
② 管理費			
給与手当	6,904,777	6,623,985	280,792
役員報酬	1,237,530	1,175,130	62,400
福利厚生費	934,054	2,251,136	△ 1,317,082
賃借料	5,546,433	5,918,156	△ 371,723
会議費	743,671	804,105	△ 60,434
交際費	22,572	29,808	△ 7,236
旅費交通費	431,418	278,470	152,948
通信運搬費	527,574	572,737	△ 45,163
消耗品費	302,977	306,338	△ 3,361
減価償却費	119,039	146,679	△ 27,640
印刷製本費	231,200	316,220	△ 85,020
諸謝金	287,001	279,612	7,389
雑費	1,149,080	999,473	149,607
管理費計	18,437,326	19,701,849	△ 1,264,523
経常費用計	130,780,626	117,889,640	12,890,986
当期経常増減額	△ 8,663,378	3,628,615	△ 12,291,993



	当年度	前年度	増減額
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 8,663,378	3,628,615	△ 12,291,993
一般正味財産期首残高	771,771,006	768,142,391	3,628,615
一般正味財産期末残高	763,107,628	771,771,006	△ 8,663,378
II. 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	359,980	10,139,382	△ 9,779,402
基本財産受取利息	359,980	10,139,382	△ 9,779,402
経常収益への振替額	△ 359,980	△ 10,139,382	9,779,402
基本財産受取利息	△ 359,980	△ 10,139,382	9,779,402
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	2,000,000,000	2,000,000,000	0
指定正味財産期末残高	2,000,000,000	2,000,000,000	0
III. 正味財産期末残高	2,763,107,628	2,771,771,006	△ 8,663,378

平成30年度正味財産増減計算書（内訳表）

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

	公益目的事業	法人会計	合計
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	389,982	59,996	449,978
基本財産運用益	79,995	10,003	89,998
基本財産運用益振替額	309,987	49,993	359,980
受取寄附金	67,717,315	45,144,877	112,862,192
受取寄附金	67,717,315	45,144,877	112,862,192
受取補助金等	36,000	0	36,000
雑収益	8,769,078	0	8,769,078
経常収益計	76,912,375	45,204,873	122,117,248
(2) 経常費用			
① 事業費			
i 助成事業			
公募助成			
公募研究助成	31,816,731		31,816,731
公募特定活動助成	2,250,000		2,250,000
助成事業計	34,066,731		34,066,731
ii 国際交流事業			
ハイク・ソーシャルワーク・セミナー計	24,967,800		24,967,800
日韓こころの交流プログラム計	14,265,885		14,265,885
国際交流事業計	39,233,685		39,233,685
iii ボランティア			
ボランティア・ミガシ研修	10,238,373		10,238,373
エニバーホルボランティア神戸	16,664,708		16,664,708
エニバーホルボランティア東京	12,139,803		12,139,803
ボランティア計	39,042,884		39,042,884
(科目別内訳)			
(研究助成金)	17,210,000)		
(特定活動助成金)	2,250,000)		
(給与手当)	30,079,190)		
(福利厚生費)	4,001,952)		
(賃借料)	13,205,320)		
(会議費)	4,703,127)		
(交際費)	623,912)		
(旅費交通費)	16,635,332)		
(通信運搬費)	2,301,741)		
(消耗品費)	702,067)		
(減価償却費)	244,554)		
(印刷製本費)	1,386,049)		
(業務委託費)	12,245,103)		
(諸謝金)	6,445,945)		
(雑費)	309,008)		
(計)	112,343,300)		
事業費計	112,343,300		112,343,300

	公益目的事業	法人会計	合計
② 管理費			
給与手当		6,904,777	6,904,777
役員報酬		1,237,530	1,237,530
福利厚生		934,054	934,054
賃借料		5,546,433	5,546,433
会議費		743,671	743,671
交際費		22,572	22,572
旅費交通費		431,418	431,418
通信運搬費		527,574	527,574
消耗品費		302,977	302,977
減価償却費		119,039	119,039
印刷製本費		231,200	231,200
諸謝金		287,001	287,001
雑費		1,149,080	1,149,080
管理費計		18,437,326	18,437,326
経常費用計	112,343,300	18,437,326	130,780,626
当期経常増減額	△ 35,430,925	26,767,547	△ 8,663,378
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 35,430,925	26,767,547	△ 8,663,378
一般正味財産期首残高			771,771,006
一般正味財産期末残高			763,107,628
II. 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	309,987	49,993	359,980
基本財産受取利息	309,987	49,993	359,980
経常収益への振替額	△ 309,987	△ 49,993	△ 359,980
基本財産受取利息	△ 309,987	△ 49,993	△ 359,980
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,500,000,000	500,000,000	2,000,000,000
指定正味財産期末残高	1,500,000,000	500,000,000	2,000,000,000
III. 正味財産期末残高			2,763,107,628

財務諸表に対する注記

平成30年度（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券は、個別法による償却原価法（定額法）を採用しています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定率法を採用しています。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等については、税込方式によっています。

2. 基本財産の増減額およびその残高

基本財産の増減額及びその残高は次の通りです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産 定期預金	2,700,000,000	0	0	2,700,000,000
合 計	2,700,000,000	0	0	2,700,000,000

3. 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次の通りです。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産 定期預金	2,700,000,000	(2,000,000,000)	( 700,000,000)	( -)
合 計	2,700,000,000	(2,000,000,000)	( 700,000,000)	( -)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次の通りです。

固定資産	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	15,972,865	14,458,117	1,514,748
什器備品	6,499,987	6,458,826	41,161
無形固定資産	324,000	264,600	59,400

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次の通りです。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額 基本財産受取利息の振替額	359,980

## 附属明細書

### 1. 基本財産の明細

財務諸表に対する注記2に記載しているので省略します。

# 財産目録

平成31年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金	手許保管	運転資金として	260,623		
	預金	普通預金	三井住友／麴町	運転資金として	47,032,456	
		みずほ／小口現金			16,491,412	
		みずほ／銀座通			1,484,894	
		みずほ／外貨			27,461,276	
		三井住友／三宮			535,423	
		三井住友／寄附金			1,028,741	
		ゆうちょ／振替			5,000	
		25,710				
		棚卸資産			書籍	5,552,218
			未収入金			70,328
	前払費用			クレジットカード決済による寄付	58,000	
				基本財産定期預金受取利息	12,328	
					100,691	
			会議施設利用料	ユニバーホボランティア神戸・東京	10,000	
			ドメイン利用料	年間管理料	7,560	
			火災保険料	ユニバーホボランティア神戸事務所	4,370	
			ボランティア保険料	ユニバーホボランティア神戸・東京	71,400	
			NHK受信料	4月～7月分	4,790	
	サーバ利用料	4月分	2,571			
流動資産合計				53,016,316		
(固定資産)	基本財産	定期預金	大和ネクスト銀行／ダイコク、みずほ銀行／銀座通	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	2,700,000,000	
			みずほ銀行／銀座通	管理運営用財産であり、運用益を管理運営の財源として使用している。	2,100,000,000	
	その他固定資産	建物附属設備	事務所内付帯設備	共用財産である。	600,000,000	
				うち90.0%は公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。	14,617,629	
				うち10.0%は管理運営用財産であり、管理運営のために使用している。	1,514,748	
					1,363,273	
什器備品	パソコン、会議テーブル	共用財産である。	151,475			
		うち87.4%は公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。	41,161			
			35,975			

			うち12.6%は管理運営用財産であり、管理運営のために使用している。	5,186
	無形固定資産	クレジットカード決済システム	共用財産である。	59,400
			うち86.0%は公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。	51,084
	電話加入権	電話回線（10回線）	共用財産である。	735,280
			うち92.1%は公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。	677,046
	敷金		うち7.9%は管理運営用財産であり、管理運営のために使用している。	58,234
		四谷YPCビル、神戸栄津ビル	共用財産である。	12,267,040
			うち89.1%は公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。	10,929,933
		四谷YPCビル	うち10.9%は管理運営用財産であり、管理運営のために使用している。	1,337,107
固定資産合計				2,714,617,629
資産合計				2,767,633,945
(流動負債)	未払金			4,192,991
		給与負担金	公益目的事業及び管理運営の業務に従事する出向職員の3月分給与	1,584,740
		旅費交通費	公益目的事業及び管理運営のための業務に使用した支払い額	486,554
		三井住友VISAカード	公益目的事業及び管理運営のための業務に使用した支払い額	177,218
		社会保険料、児童手当拠出金	職員	405,336
		通信運搬費	公益目的事業及び管理運営のための業務に使用した支払い額	67,550
		研究助成金	平成30年度助成金2件	1,450,000
		消耗品費	公益目的事業及び管理運営のための業務に使用した支払い額	17,363
		会議費	公益目的事業及び管理運営のための業務に使用した支払い額	4,230
	預り金			333,326
		雇用保険	職員	42,787
		社会保険料	職員	176,763
		源泉所得税、住民税	職員	113,776
流動負債合計				4,526,317
負債合計				4,526,317
正味財産				2,763,107,628